



## はじめに

天王遺跡は鈴鹿川右岸，低位段丘面の東端に当たります。北側には金沢川，南側には田古知川が流れ，遺跡の500mほど東方で合流して伊勢湾に注ぎ込んでいます。

遺跡周辺には遺跡が多く存在しています。塚越古墳群からは須恵器・玉類のほか画文帯神獸鏡などが出土したとされています。全長30mの21号墳・50mの22号墳の前方後円墳を含む37基の岸岡山古墳群は丘陵部だけでなく海辺にまで及び，人物埴輪や家形埴輪が出土する古墳が砂堤列上に築かれています。

近くの岸岡山古窯跡では特徴のある須恵器が焼かれ近隣の集落や古墳へ運ばれていたと考えられます。独特な須恵器は遠く三河湾内の島や渥美半島からも出土しており，この地域の人達の海を通じて展開された交流の一端を知ることができます。

天王屋敷遺跡からは瓦が多く採集されていることから，遺構の発見はされていないものの白鳳期の寺院跡ではないかと推定されています。

天王遺跡での調査は今回で8度目の調査となりました。過去の調査では古墳～奈良時代の建物群が数多く検出されています。3・5次調査では，南東から北東へと緩やかにカーブした幅3～5mの溝が全長約100mに渡り検出されています。

## 調査成果

今回の調査では，掘立柱建物4棟・竪穴住居4棟・溝・土坑・柱穴などを検出しました。

掘立柱建物は，梁行2間×桁行3間以上の建物を1棟(SB0832)，2×2間以上の建物を1棟(SB0836)，2間×2間の倉庫と考えられる建物を2棟(SB0833・0835)を発見しました。柱穴は40～50cmで中心に柱の痕跡が見つけれられるものもあります。その他には，調査区外に広がる掘立柱建物と考えられる，80cmほどのやや大型の柱穴の列(SA?0834)が見つかっています。出土遺物が少量のため時期の確定は難しいのですが，溝SD0801に伴うものと考えられます。

竪穴住居は、約2.5～4mのものが4棟(ST0810・0811・0812・0826)見つかりました。そのうち3棟(ST0810・0812・0826)には壁周溝が掘られています。どの竪穴住居についても支柱穴と考えられるものは検出されませんでした。出土している土器から7世紀後半～8世紀のものと考えられます。

調査区を東西に横断する溝SD0801・0807・0805は、ほぼ同一の場所で掘り直され、時期は各々古墳時代・古代・中世に当たると考えられます。溝SD0801・0807についてはさらに2時期に分けることができます。SD0801古は幅約3m、深さ約1mを測る大きな溝です。堅く締まった砂礫層に掘り込まれていることや、逆台形状の形からみて人工的に掘られたものと考えられます。埋土からは少量の弥生土器や古墳時代前期の土器が出土しました。SD0801新については若干幅と深さが小さく、6世紀後半～7世紀を中心とした土器が出土しました。南側で検出されたSD0819は、中世の溝SD0805とほぼ並行して見つかり、出土した遺物から同時期に機能していたと考えられます。

出土遺物は溝SD0801・0807を中心に弥生土器、土師器高坏・台付甕・甕・甑こしき・皿、須恵器坏・小壺・高坏・はそう・甕、瓦片、製塩土器、土錘、水晶片が見つかりました。

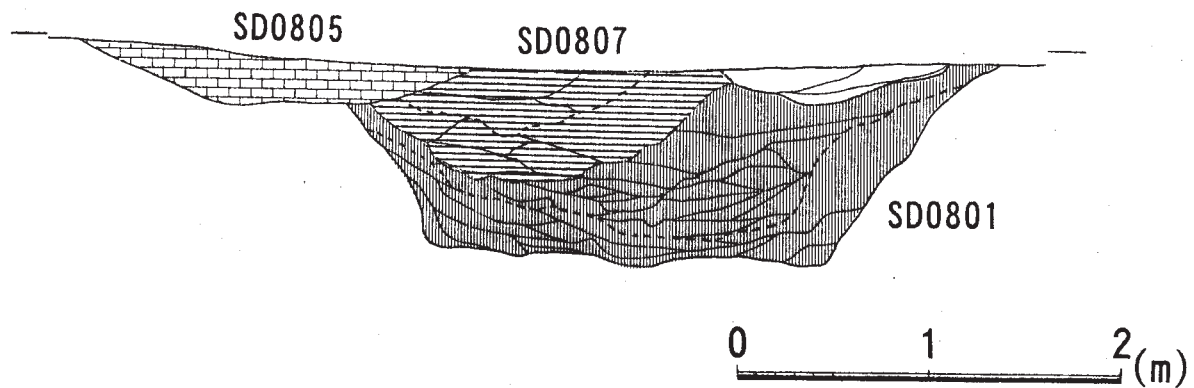
## まとめ

今回の調査でみつかった溝SD0801・0807・0805は長期間に渡り何度も掘り直されて使われていたことが分かりました。調査区の約80m西で行った3次・5次調査では、溝SD0801とほぼ同規模・同時期と考えられる溝が見つかっています。これらの溝を一連のものとするのなら、現在厚生病院が立てられている周辺を1/3程巡っている溝と見るすることができます。

周辺の古墳を造り、後に寺院を建てることのできたこの地域の有力豪族が、館の周囲を巡る濠や物資運搬のための運河として利用していたとは考えられないでしょうか。

今後、予定されている病院施設の建て替えに伴う発掘調査によって、溝のカーブ内側の状況が明らかになってゆくことでしょう。

SD0801・0807・0805断面図(1:40)



天王遺跡8次調査の出土遺物は鈴鹿市考古博物館において2001年市内遺跡発掘調査出土遺物と共に展示されています。

速報展 **発掘された鈴鹿2001**

2002. 3/21~6/30

観覧料 一般・学生/200円 小・中学生/100円

休館日 月曜・第3火曜(祝日の場合は開館)

祝日の翌日(日曜日の場合は開館)

開館時間 午前9時~午後5時

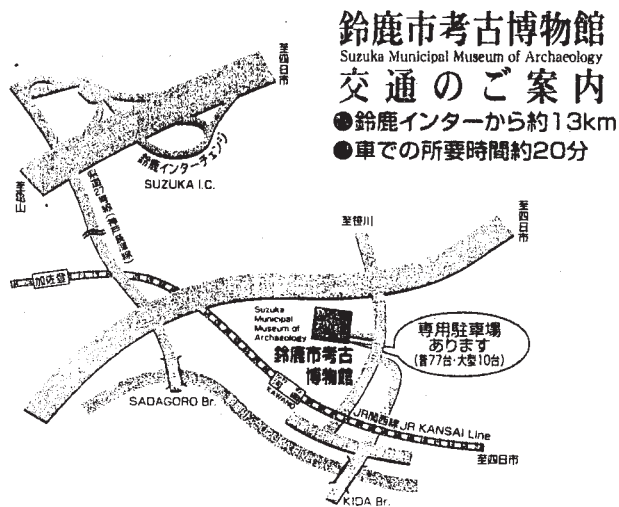
入館は4時30分まで

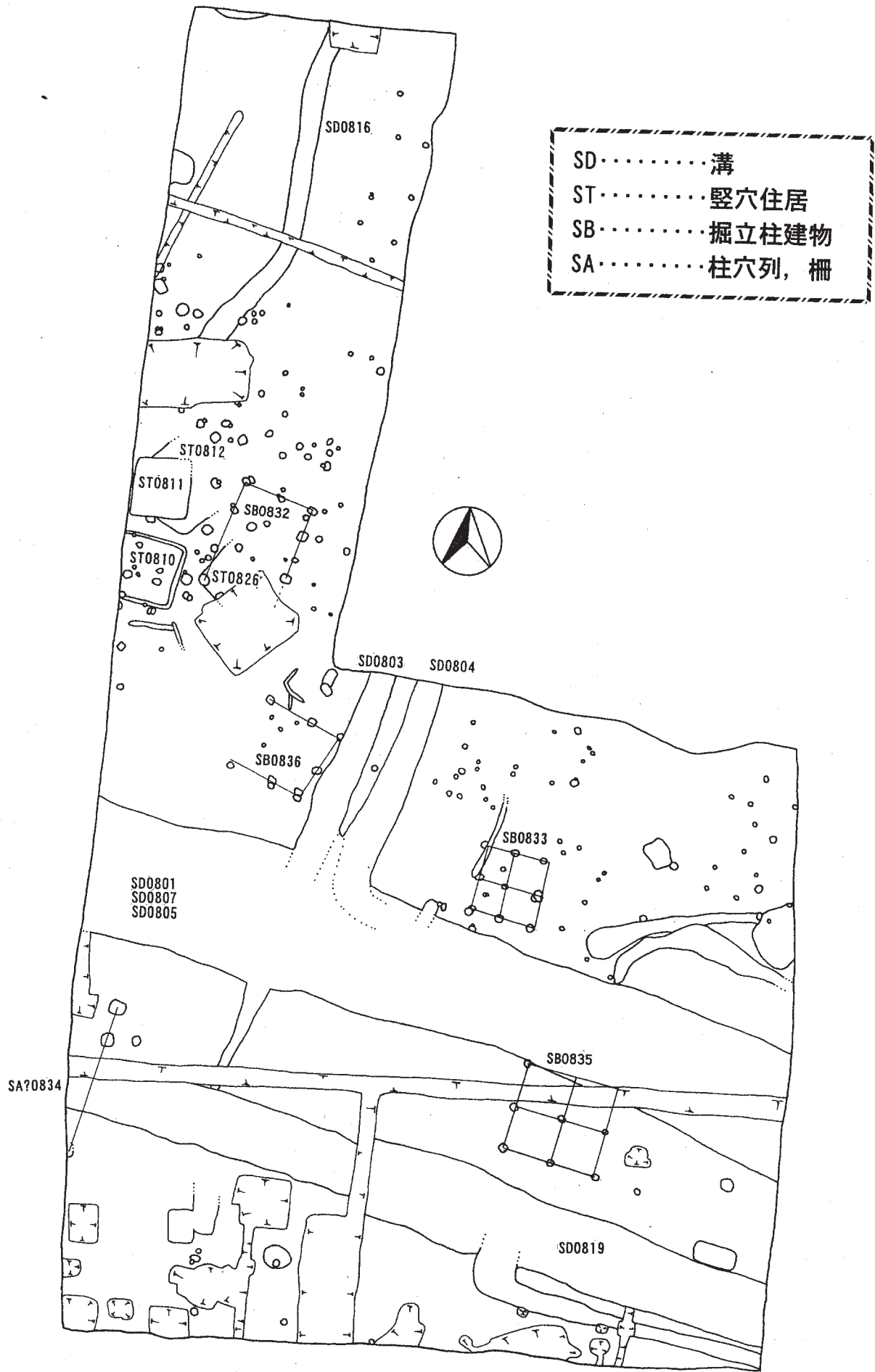
## 鈴鹿市考古博物館

鈴鹿市国分町224番地 TEL.0593-74-1994 FAX.0593-74-0986

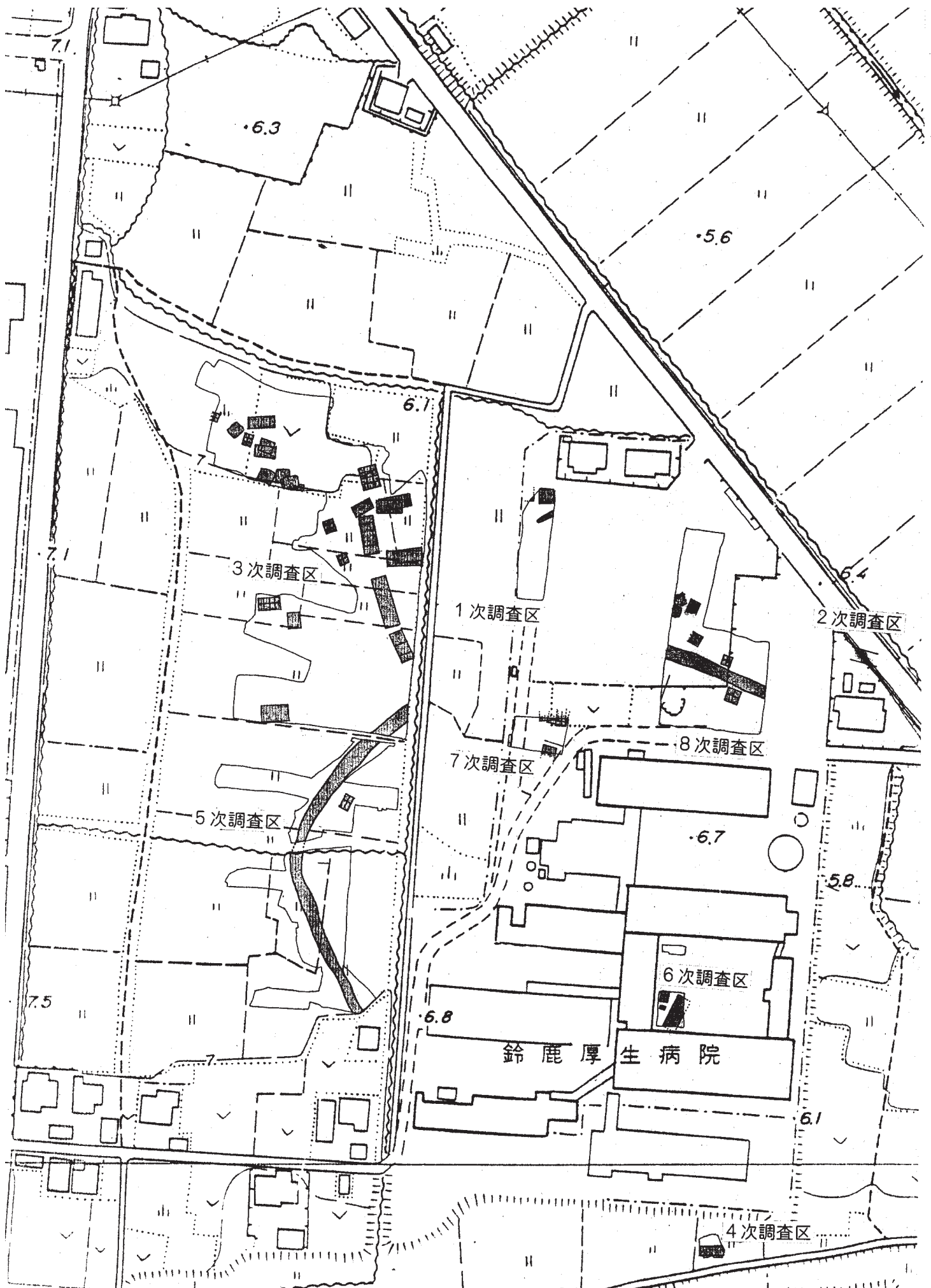
E-mail: Kokohakubutsukan@city.suzuka.mie.jp

URL <http://www.edu.ctiy.suzuka.mie.jp/museum/>





遺構略図(1:250) 0 5 10 20 (m)



調査区位置及び主要遺構図(1:1,500)